

KARATEDO

TEIKYO UNIV.
SPORTS OFFICIAL
YEARBOOK 2025

TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2025 KARATEDO



帝京大学空手道部

真 向 勝 負



空手に生かされて

～帝京大学空手道部と歩んだ過去・現在・そして未来～

これまでに 45 度もの全日本団体タイトルを母校にもたらした香川政夫師範が今季限りでの勇退を表明された。40 年以上に及ぶ一時代が終わろうとしている中、何を思うのか。尽きることのない空手への思い、学生へ伝えたいことを語ってもらった。

ということですから。失敗は成功のもとです。大事なことは自分に挑戦する気概があるかないかということですよ。

●

退任が決まり、周りから「寂しくないですか?」とかいろいろと聞かれたりしますが、そういった感情は一切ないですね。こうしておけばよかったとか、何の後悔も一切ない。やれることは目一杯やりましたと、晴れ晴れとした心境ですよ。本当に多くの出会いに恵まれ、多くの人々に支えられて感謝の気持ちで一杯です。ただ、最後の年に今一度、学生に浸透させておきたいことがあって、それが、亡くなった前OB会長の守屋武君が空手道部の50周年誌に寄稿してくれた原稿に書かれていたことなのですが、彼はいかに学生を成熟させるかということを書いていました。我々はそういう話をよくしていました。いろいろな問題がある中で、どうやって学生を大人にさせるか。それによって技も変わるし、私生活も変わる。もちろん学生だし、未熟で幼稚な部分があるのも仕方がない、でもそこから一歩二歩ステージを上げて、大人の行動、大人のものの考え方を身につけていく。ただ空手だけ強くなればいいという問題ではないんです。普段の生活、稽古から、悔いのない日々をどう過ごすか。好きなことをさせても

らい、大学へ行かせてもらっているのだから、やるべきことがあるだろうと。サボっている場合じゃないだろう。そこに気づいて、それを実行し、それにかける思いを持って望めるかどうか。その信念、執念、念じる力が技に、構えに、動きに出るんですよ。そして、そういう思いで生きていると、不思議と同じ思いを持った人たちが磁石のように吸い込まれて集まってくるものなんです。人生は一回しかない。私は空手をやるうと思っただ阪から出てきた人間ですが、何でもいから、一旗上げてやってやるうという気概のある人間になってもらいたいと思いますね。

●

1982年のコーチ就任時に今の部の姿は想像できなかったですね。とにかく一度は優勝したいというくらいの気持ちでしたよ。やっぱり転機となったのは合宿所ができたことですね。強豪校はどこも合宿所を持っていましたし、必要性は感じていました。1996年の12月に完成して、1998年に初優勝です。効果てき面でしたよ。でも、さすがに指導者家族が住み込みという大学はウチだけだったでしょうけど(笑)。2度目の全日本優勝(2004年)のときもまだ住んでいましたね。(過去の戦績一覧を見ながら)印象に残る

優勝ねえ。最初の4冠(2008年)のときですけど、勝つときは不思議な偶然が重なるんですよ。男子組手の準々決勝(対近畿大学)ですが、相手は当時3連覇中の優勝候補。試合前にある三年生の選手に「行けるか?」と聞いたら、「自信がない」と答えが返ってきたんです。そこで、当時二年生だったウチの次男坊の忠介の起用を決めたんですが、本人は出番がないと思っっているからもうスタンドでジャージ姿ですよ。元々、忠介はチーム内選考会で最後にギリギリで選んだ選手でした。そして、大会直前にメンバー登録していた四年生がけがをしたこともあって彼にチャンスが回ってきた。そして、大一番でろくにアップもせず試合に臨んだのです。先鋒、次鋒、中堅に四年生を並べ、副将に忠介、そして大将にウチの長男坊の幸允というオーダー。さあ試合は、先鋒が負けて、次鋒が勝って、中堅が負けた。忠介が負けたらもう終わりですよ。でもそこで忠介が勝った。そして大将の幸允は完勝。まだ優勝が決まったわけではないけれど、もう大騒ぎですよ。後で誰かから「息子さん二人をよく後ろに並べましたね」と言われて、ああ確かになとそのときに気づいたくらいです。二人が負けるようなことがあれば香川家大変

だったよなと。でも、そんなプレッシャーなど一切ありませんでしたよ。何の迷いもなく組んだオーダーでした。次の準決勝(対大阪商業大学)もそのままでの勢いで勝ち、最後の決勝(対駒澤大学)です。この年、駒澤大学は東日本団体、関東団体を優勝しており、我々よりも戦力がそろっていた。ただもう勢いが違った。先鋒・申妻、次鋒・二瓶、中堅・野口が勝ってこの時点で勝利が決まり、副将・豊間根も勝ち、大将の幸允が引き分けて4勝1分の完勝で4冠制覇ですよ。よく覚えている? 今でも鮮明に覚えていますよ(笑)。女子の方は最初の優勝(2008年)くらいかな。あとはあんまり憶えていないのよ(苦笑)。もう完勝過ぎてね。だって8連覇でしょ(2010年〜2017年)。優勝するのが当たり前でね。小林、染谷(香)、植草、染谷(真)、川村、森口、鈴木、宮原…。もう贅沢な話だった。誰を使っても勝ってた時代でした。まず破られないんじゃないかな。そして団体形、見事と言っしかないよね。男女とも優勝できなかったのが一度だけだもんね。あと、全日本個人でも4冠を達成しているんですよ(2019年)。これもすごいことですよな。

●

今年は可能な限り監督席に座

ります。最後に4冠取りたいですね。やっぱり、4冠を取ったときの喜びというのはもう忘れられないんですよ。あの歓声がね。それも二度も。奇跡が二度起こった。「二度あることは三度ある」とよく言っつて。一回目はまぐれでもできる。二回目で本物。そして二度あることは三度あると。私の頭から離れないんですよ。きつと三度目もできますよ。これは帝京大学しかできないですよ。私にとって最後の試合となる今年の全日本団体、どんな心境で迎えるのか、今からワクワクしているんだだけね。まあ晴々とした気持ちで当日を迎えることが一番の目標ですね。そして三度目の4冠を取れることを願っています。

●

学生への指導という意味では今年が区切りですが、空手道家としてはずっと現役だと思っています。私は今でも本当に空手に生かされていると実感しています。自分の指導員稽古で汗をかくことが最高の喜びなんです。まあだんだんと関節もポロポロになっ、もう腰も落とせない、ひざも曲がらないような状況ですが何とかごまかしながらやれることをやっていますよ。でも何歳になってもそれが生きがいなんです。なにせ今の私の目標は90歳で上段回し蹴りを蹴ることですからね(笑)。



空手道部 師範・監督

香川 政夫

KAGAWA Masao

かがわ まさお
1955年生まれ。大阪府出身
帝京大学卒
1982年より母校・帝京大学での指導を開始
NPO法人日本空手松清連盟首席師範

今季限りで空手道部の師範を退任することになりました。(退任については) 頭の中にはありましたが、近年は公の場であいさつさせてもらうときにも触れてきました。今年で70歳というのもひとつの区切りだったということです。それに、元氣なうちに交代することでもいいことでしょう(笑)。40年以上もやったのですしね。ただ、今の一年生は私が連れてきたこともあるので、彼らが卒業するまでの残りの三年間は名誉監督として部に残ることを予定しています。しかし、私が表立って口を挟むことはありません。来季以降指揮を執るのはすべて稲田コーチです。プレッシャーもあるでしょうし大変だろうと思います。勝てなくなるときもあるかもしれない。でも、それは私がいてもそういうときはあります。そこに右往左往することはないんです。いろいろ挑戦して失敗することが大切です。失敗するということは挑戦している

一年生時に4冠制覇を経験した千葉、後藤の両主将は、

その再現と、退任する香川師範の胴上げを誓っている。

4冠制覇で師範を送り出します！

かつて主将を務めた宮崎佑介先輩（2017年度）、光先輩（2022年度）の兄弟が地元の道場の先輩ということもあり、小学生のころから帝京大学の試合を見ており憧れていました。特に三学年違いの光先輩には子どものころからよく面倒を見てもらっていました。

入学してからこれまでの三年間は充実していたと思います。中学、高校時代に思うように実績を残せなかった自分が一年生からメ

ンバー入りできたり、ナショナルチームに入れたりしたのは帝京大学に入学したからこそだと思っています。

新チームでは宮崎兄弟に続き主将に選んでいただきました。これまでも主将はやらせてもらいましたがさすがに帝京大学の主将となるとひと味違います（苦笑）。前期に出場した二つの大会、東日本団体では決勝戦までは全部勝ったのですが、決勝は試合内容に不満が残るものでしたし、関東個人戦

男子主将
千葉 優汰 CHIBA Yuta

分に対してもどんどん言ってくれますし、下級生たちものびのび練習しており、自分たちも納得のいく練習をしています。戦力は非常に高いと思いますし、メンバー争いもすごく激しいです。今年のチームなら勝たないといけないというくらいチーム力だと思っています。東日本団体を制した勢いのまま行つて、あとは自分がしっかりするだけです。師範やコーチ陣から言われていることをやれば間違いなく勝てると思います。

自分たちの代は一年生のときに4冠を経験しました。周りの方たちからはあのときのチームと比べる必要はないよと言われますが、自分たちの代はみんなあの代の先輩に憧れていたもので、一年生のときからそこをめざしてやってきました。自分たちが正解だと思ってきた形に少しでも近づきたいと思っています。

自分が主将になった年に師範が退任されるというのも思うところはあります。すべて整ったのもうやるしかありません。全日本団体で4冠を達成して師範を送り出したいと思います！



絶対に勝利を持ってくる選手になる

高校時代は主将を支える側だったので、主将という立場に立ってみて分かる難しさ、チームをまとめる大変さを実感しています。そんな中で、部内での選考会で負けて関東個人戦に出場できずに前期を終えてしまいました。主将として自分が優勝して全日本個人につなげようという強い思いがあったので、本当に情けないと思いました。ただ、コーチの方々に「チームを引っ張るのは主将だ」と言われて、いつまで

もその気持ちを引かずっていただけないと思い気持ちを切り替えました。私自身は後期がありますし、前期に試合がある人には全力でサポートをしたいです。

昨年は私自身も含めて一人ひとりの気持ちがどこかバラバラで、それがそのまま結果に出てしまったことが多かったため、今年はメンバー、メンバー外とか、先輩後輩とか関係なく気持ちをぶつけ合えるチームを作り、全員が勝ちに行くという強い気持ちを持ってたら

と思います。個人的には、東日本団体の準決勝で先鋒として出場して負けた試合が印象に残っています。途中まで大差で勝っていたのですが、前で勝負していたところを後ろに下がり負けてしまいました。師範にも指摘されるのですが、前で勝負して勝つていてもそれを継続させる力が自分にはまだ足りません。勝っているときに自分がどういう状態で勝っているのかというのを苦しい時間帯でもしっかりと考えられるように意識して

女子主将
後藤 星奈 GOTO Seina

いかないと強くなれないと思っていますので、相手や試合の流れ全体を見るところ組手を一から作り直すという最近の稽古で取り組んでいます。今の私には、「絶対にあいつは勝ってくる」という信頼感がまだコーチ陣から持たれていないので、こそこの場面に出してもらえるようになりたいです。

今年で師範が退任されます。春先のとある日の稽古後に告げられました。個人的には絶対に辞めなと思っていますので少し驚きま

したが、動揺はしませんでした。チーム内にも動揺はありません。むしろ、師範のためにも勝とうという一人ひとりの気持ちがより強くなったのではと感じています。女子チームも声を出して稽古を盛り上げようという雰囲気も強くなっていますし、気のせいか師範も以前より楽しそうに稽古に参加されているような気がします。

師範、コーチ陣のためにも、自分のためにも、そして北海道から応援してくれる家族のためにもしっかりと勝利を持ってくる選手になって、すべてで完璧な試合をして必ず優勝してみせます。



加藤 大誠
KATO Taisei

高子 智央
TAKAKO Chihoro

吉田 大倭
YOSHIDA Yamato

杉野 鴻輝
SUGINO Koki



昨年の全日本団体の決勝の舞台に4人目のメンバーながら、負傷者の代役として出場した吉田は壮絶なプレッシャーと闘っていたことを明かす。

「演武を終えて、安心したというのが一番強かったです。みんな先輩が出ると思っていたらどうし、そんな中で自分がミスをしたり、足を引く張って負けにつながるとは絶対許されなかったの…。あの時期は、寮に帰ってもリラックスできないし、寝ていても試合で負けることを想像したりとか、結構切羽詰まった状態でした。ストレスで痩せて極限な状態で試合を迎え、体調は万全ではなかったのですが、そんな状況でも勝って、先輩たちをしっかりとサポートでき、優勝に貢献できたという安堵の気持ちが一番でした」（吉田）

そんな巨大な重圧を乗り越えて一皮向けた副主将の吉田を軸に、関東個人を制した高子、けがを乗り越えメンバー定着を狙う加藤、そして4人目のメンバーとしてチームを支える四年生の杉野で新チームは構成される。

「関東個人は誰も自分が勝つとは思っていなかったと思いますし、師範からそう言われました。それだけに嬉しかったですし、自信になりました。団体形は二年生のときに4人目のメンバーに入っていて、練習は一緒にやっていましたが、実戦は見ている感じだったので不安はありますが、二人についてやっていきます（笑）。全員で勝ちにいくという気持ちを持って、形も組手もひとつになって4冠めざして」

もっと上へ、気持ちをひとつに圧倒的な強さを 男子団体形

男女ともに大幅にメンバーが入れ替わった新チーム。顔触れが変われども選手たちは連覇、伝統という見えない敵と戦い続けている。それが帝京大学団体形の宿命なのだ。

頑張ります」（高子）

「昨年は四年生が全員強かったですが、それを超えていくような気持ちでやっていかないと日本一は守れないと思うし、帝京大学のプライドを持ってしっかりとやっていきたいと思っています。昨年も、一昨年もけがであと一步のところでメンバー入りを逃しました。多くの人たちに支えてもらって復帰できたので、今年こそは、四年生の先輩を支えてしっかりとサポートしていきながら日本一に貢献したいと思います」（加藤）

「現状は第4のメンバーとして、サポートはもちろんですが、自分も出場するという意識も常に持って日々取り組んでいきたいと思っています。帝京大学は勝つことが当たり前と思われている中でその伝統を引き継いでいることを誇らしく思っています。それを今回自分の代でつなげないといけないという気持ちはあります。常に全力で、それは道場でのみならず、日ごろから意識を高く持って何事にも挑んでいきたいです」（杉野）

チームを引っ張る吉田は力強く語る。「まず男子団体形は6連覇、このチームだったら絶対いけると思っています。圧倒的に勝たないとダメだと思います。今に満足せずにもっといける、もっと上をめざす、全員その気持ちは一緒だと思います。そして師範もラストイヤーなので、最後に4冠を取りたいです！」（吉田）

増埜 雛
MASUZAKI Hina

鈴木 遥名
SUZUKI Haruna

佐藤 琴美
SATO Kotomi

岡本 祥
OKAMOTO Saki

堀田 つばめ
HORITA Tsubame



昨年コートに立った三人が卒業し、今季は「昨年の優勝メンバーである三年生の佐藤を中心に、四年生の鈴木、一年生の岡本が脇を固めるオーダーが基本となるようだ。」

「新チームで挑む年ではありますが、全く負ける気はしませんし、昨年の先輩方がいい演武を全日本で見せてくれたので、それを超えられるように頑張っていきたいと思います」（佐藤）

「佐藤が軸ということもあり、全体的にスピード感や勢いがある、これまでの帝京大学の良さは残しつつも、これまでとは一味違うチームになると思います」（鈴木）

「昔から帝京大学の団体形に慣れていて、ここに入るときも日本一、世界一を取ると決めていましたので、まずメンバーに入ったことは素直に嬉しいです。そして、先輩方と一緒に日本一になりたいと思っています」（岡本）

四年生の増埜、同期の佐藤とともに組手との「二刀流」に挑戦する堀田も強い気持ちでチームを支えている。「試合に出るのは三人ですが、練習の中で客観的に見てアドバイスする4人目の役割も重要です。佐藤が組手の稽古で抜けても、分解パートを全部覚えたりして、何があってもいいように、縁の下で力持ちという感じで三人を支えていきたいです」（増埜）

「組手と両立する中で悩みはありましたが、ずっと団体形には慣れがあったので、コートに挑戦の意思を伝えました。たとえ4人目のメンバーであっても、自分の置かれた立場でチー



スピードと勢いで、 いざ節目の15 連覇へ！ 女子団体形

ムに貢献することを考えていきたいです」（堀田）

今年は節目の15連覇がかかる。最上級生は伝統の重みを痛感する。

「帝京大学ならではのことでと思います。ずっと連覇をつなげてきましたが、それが当たり前ではありません。しっかりと日々の稽古を行い、他の大学に負けない練習量を、高い意識を持ってやっているからこそ続いているのだと思っています」（鈴木）

5人が今季にかける決意を語る。「一年生から出場させてもらっている立場として、形も組手も自分が中心となってチームを引っ張って日本一をめざし、4冠を取れるように頑張りたいです」（佐藤）

「最初で最後の団体形になるので、しっかりと自分たちのできることをすべてやり尽くして日本一になり、全員で4冠を取りたいと思います」（鈴木）

「普段から一日一日を無駄にせず、大切に稽古をして連覇をつなげ、来年度以降も安心できるような結果を残したいと思っています」（増埜）

「まずは前期の組手でしっかりと結果を出したいです。形に関しては個人の能力をもっと上げて、どうすればチームの力になれるかを考え日々稽古していきたいと思っています」（堀田）

T

主務

山下 慶人

YAMASHITA Keito

主務になってこれまでの三年間と生活がガラッと変わりました。任される仕事の量、期限をきちんと管理して、その中で稽古や学業や就活、自分のプライベートな時間をどうやって作っていくのか。稽古終わりで疲れていても、主務仕事をしないといけないときはしんどいと思うこともありですが、社会に出てからも主務でやっている仕事は生かせると思うので、頑張ろうと前向きに取り組んでいます。

入学して早々リハビリという辛い時期もありましたが、「継続は力なり」という言葉を大事にしてリハビリや、一つひとつの目標にめげずに取り組んできました。先輩方からも主

もう一度4冠の感動を

務をやりながらメンバー入りすればすごいぞと言われていたのでそこは頑張りたいです。四年生になって東日本団体で団体戦デビューできましたし、関東個人では全日本個人への出場権を手に入れることができました。秋の団体戦でもメンバー入りして結果を残したいです。これまで、両親が応援に来てくれても試合に出場できないという悔しい思いもしてきたので、今まで以上に気合が入っています。競技として空手をするのは今年で最後だと思えますし、師範も今年で最後というのもあるので、自分たちが4冠を取って師範を胴上げして、もう一度4冠の感動を味わいたいです。



男子副主将

吉田 大倭

YOSHIDA Yamato

これまで自分の出身高校から帝京大学に進んだOBもおらず、知り合いもいなくて不安でしたが、帝京大学の形の強さに憧れてセレクションを受けました。入学当初は全員が雲の上の存在のようで、自分は何もできずに終わるのではないかと不安になることもありましたが、それでもやればやった分だけ成長できるし、やらなければ成長できないし、自分の気持ち方ひとつで決まるのだと思い頑張ってきました。

昨年の全日本個人では準優勝できました。その前の年の関東個人では1ラウンド落ちだったので大きな自信につながりました。そして今年は副主将にも選んでいただいた

過去最高の形を見せる

ことを考えると、入学していたころに思い描いていた理想の自分に少しは近づけているのかなと思います。形の選手たちを引っ張る立場として、過去の主将たちのような一言で場を引き締められるような存在感を持てるように、稽古だけでなく私生活からしっかりと姿勢で示すように心がけています。落ちていくゴミを拾うとか、小さなことですが、そうしたことの積み重ねが「運を拾うことにつながる」と思っています。



男子副主将

弓削 慶介

YUGE Keisuke

中学、高校と九州では結果を残せましたが、全国に行くのと勝ち切れずに悔しい思いをしていたので、その状況を変えるには帝京大学に行くしかないという思いでセレクションに参加しました。きつい時期もありましたが、諦めてしまったら親をはじめ支えてもらっている人たちにも申し訳ないですし、すべて自分が強くなるためにと思ってやってきました。転機になったのは二年生のとき日本代表に入りアジア大会で優勝したことでした。強い海外の選手がいる中で優勝できたことは嬉しかったですし自信もつきました。

自分は器用な組手ができるタイプではあ

師範とともに有終の美を

言葉にある通り、気持ちの部分で大事にしています。自分より技術が勝る相手にも気持ちで勝ち切り、自分の思うような組手ができるようになってきたのは大学に入ってから成長できた点だと思っています。

どんな結果であれ、大学4年間で燃え尽きて空手を辞めるという気持ちでここに来たので最後は絶対に優勝したいです。副主将でもありますし、主将の千葉を支えて、道場でも寮生活でも行動で示して引っ張っていきたいです。師範も今年で最後ですし、自分たちがその有終の美を飾らせないといけないと思っています。4冠を取って一緒に引退できた最高です。

女子副主将

高野倉 真央

TAKANOKURA Mao

四年生になってこれまで感じなかったプレッシャーを感じています。今までの三年間は負けてもまだ先があるという感じでしたが、これからの試合は全部が最後になっていくので、今までやってきたことを出すのはもちろんですが、本当に悔いが残らないようにということを感じてコートに立っています。そんな中で関東個人ではベスト8に進むことができたことは自信になりました。

主将の後藤とは高校からのチームメイトで、高校時代は自分が主将で後藤が副主将でした。高校時代にしっかりと支えてもらった分、今度は自分がしっかりと支えたいと思っています。副主将として、自分のことだけに

4冠を奪還して師範を胴上げします

1

集中するのではなく、周りをよく見てコミュニケーションを大事にして、練習でも私生活でも一年生から四年生までいい関係を築けるよう助けになりたいです。ここには強い選手が集まるので私自身も後輩から学ぶことも多いです。男子からも技術的なことを学ぶこともあります。周囲をよく見て学ぶ姿勢も大事にしたいです。

一年生の際に経験した4冠の景色が今でも鮮明に残っています。胴上げしたときの師範の笑顔が印象的でした。今年は最後です、二人の主将を中心に4冠を奪還できるように、そして師範をまた胴上げできるように頑張ります。



PLAYERS LIST 2025

2025 年 帝京大学空手道部 プレーヤーズリスト

Profile 氏名 / 学部・学科 / 出身高校 / 出身地 / 身長 / 空手道歴



高橋 穂帆

TAKAHASHI Hobaru
医療技術学部スポーツ医療学科
聖和学園高／宮城県
160cm／空手道歴15年



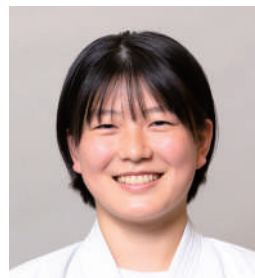
石濱 七菜

ISHIHAMA Nana
医療技術学部スポーツ医療学科
福井工業大学附属福井高／愛知県
164cm／空手道歴16年



加藤 大誠

KATO Taisei
医療技術学部スポーツ医療学科
日本航空高／長野県
168cm／空手道歴17年



堀田 つばめ

HORITA Tsubame
医療技術学部スポーツ医療学科
光明学園相模原高／静岡県
163cm／空手道歴15年



伊藤 藍

ITO Ai
医療技術学部スポーツ医療学科
尾鷲高／三重県
161cm／空手道歴14年



千枝 紘

CHIEDA Hiroyuki
文学部日本文化学科
仙台育英学園高／宮城県
170cm／空手道歴16年



植原 涼

UEHARA Ryo
医療技術学部スポーツ医療学科
東洋大学附属牛久高／栃木県
169cm／空手道歴14年



岡本 依央理

OKAMOTO Iori
医療技術学部スポーツ医療学科
秀明大学学校教師学部附属秀明八千代高／佐賀県
160cm／空手道歴17年



根岸 航太郎

NEGISHI Kotaro
医療技術学部スポーツ医療学科
埼玉栄高／栃木県
169cm／空手道歴15年



大野 翼

ONO Tsubasa
医療技術学部スポーツ医療学科
秀明大学学校教師学部附属秀明八千代高／北海道
174cm／空手道歴15年



佐藤 琴美

SATO Kotomi
医療技術学部スポーツ医療学科
日本航空高／東京都
160cm／空手道歴17年



米丘 羽翼

YONEOKA Tsubasa
文学部日本文化学科
保善高／東京都
182cm／空手道歴14年



大巻 孝太郎

OMAKI Kotaro
医療技術学部スポーツ医療学科
北海道科学大学高／北海道
169cm／空手道歴14年



高野倉 真央
女子副主将

TAKANOKURA Mao
医療技術学部スポーツ医療学科
光明学園相模原高／東京都
172cm／空手道歴16年



吉田 大俊
男子副主将

YOSHIDA Yamato
医療技術学部スポーツ医療学科
龍谷高／佐賀県
168cm／空手道歴15年



竹内 紘喜
幹部

TAKEUCHI Genki
教育学部教育文化学科
松本第一高／長野県
179cm／空手道歴15年



増崎 雛
幹部

MASUZAKI Hina
医療技術学部スポーツ医療学科
関根学園高／新潟県
162cm／空手道歴15年



石塚 颯綺
幹部

ISHITSUKA Satsuki
医療技術学部スポーツ医療学科
東洋大学附属牛久高／茨城県
155cm／空手道歴11年



千葉 優汰
男子主将

CHIBA Yuta
医療技術学部スポーツ医療学科
拓殖大学紅陵高／千葉県
176cm／空手道歴15年



赤木 圭一郎
幹部

AKAGI Keiichiro
医療技術学部スポーツ医療学科
おかやま山陽高／岡山県
163cm／空手道歴11年



後藤 星奈
女子主将

GOTO Seina
医療技術学部スポーツ医療学科
光明学園相模原高／北海道
155cm／空手道歴17年



山下 慶人
主務

YAMASHITA Keito
医療技術学部スポーツ医療学科
鹿児島城西高／鹿児島県
176cm／空手道歴17年



杉野 鴻輝
幹部

SUGINO Koki
経済学部経営学科
世田谷学園高／山口県
170cm／空手道歴16年



鈴木 遥名
幹部

SUZUKI Haruna
医療技術学部スポーツ医療学科
聖和学園高／宮城県
151cm／空手道歴16年



弓削 慶介
男子副主将

YUGE Keisuke
医療技術学部スポーツ医療学科
芦北高／鹿児島県
176cm／空手道歴16年



高子 智央
主務補佐

TAKAKO Chihiro
医療技術学部スポーツ医療学科
拓殖大学紅陵高／千葉県
167cm／空手道歴15年



OKAMOTO Saki
医療技術学部スポーツ医療学科
おかやま山陽高／岡山県
150cm／空手道歴12年

岡本 祥



MASUDA Terumichi
医療技術学部スポーツ医療学科
拓殖大学紅陵高／神奈川県
166cm／空手道歴14年

増田 光途



SUGIYAMA Yudai
医療技術学部スポーツ医療学科
浜松開誠館高／静岡県
161cm／空手道歴15年

杉山 悠大



TAKAHASHI Wakaba
医療技術学部スポーツ医療学科
日本航空高／岩手県
159cm／空手道歴13年

高橋 わかば



MIYAKE Naoto
医療技術学部スポーツ医療学科
横浜創学館高／神奈川県
179cm／空手道歴13年

三宅 波音



SERIZAWA Soto
医療技術学部スポーツ医療学科
御殿場西高／静岡県
163cm／空手道歴13年

芹沢 奏音



KUSANO Riku
医療技術学部スポーツ医療学科
光明学園相模原高／東京都
175cm／空手道歴13年

草野 流空



MURAYAMA Honoka
医療技術学部スポーツ医療学科
前橋工業高／群馬県
156cm／空手道歴14年

村山 ほのか



MIYAMOTO Kanta
医療技術学部スポーツ医療学科
拓殖大学紅陵高／千葉県
177cm／空手道歴9年

宮本 幹太



NODA Haruto
医療技術学部スポーツ医療学科
東福岡高／福岡県
165cm／空手道歴13年

野田 陽都



KURASAWA Takeru
法学部法律学科
金石高／岩手県
164cm／空手道歴11年

倉澤 威琉



YOSHIDA Hana
医療技術学部スポーツ医療学科
済美高／静岡県
155cm／空手道歴10年

吉田 羽那



MORIYAMA Shuya
教育学部教育文化学科
松本第一高／長野県
177cm／空手道歴12年

森山 周哉



NISHIO Kanato
医療技術学部スポーツ医療学科
仙台育英学園高／島根県
182cm／空手道歴13年

西尾 奏人



KON Yuki
医療技術学部スポーツ医療学科
御殿場西高／岐阜県
164cm／空手道歴13年

今 勇絆



ISHITA Nonka
医療技術学部スポーツ医療学科
鹿児島城西高／鹿児島県
170cm／空手道歴13年

井下 望花



HIRATA Shoei
医療技術学部スポーツ医療学科
宮崎第一高／宮崎県
166cm／空手道歴13年

平田 奨英



SHIN Yutaka
医療技術学部スポーツ医療学科
日章学園高／福岡県
180cm／空手道歴15年

進 豊



UEDA Myu
医療技術学部スポーツ医療学科
大阪学芸高／兵庫県
166cm／空手道歴11年

上田 美優



Meredith Leo James
医療技術学部スポーツ医療学科
神港学園高／山梨県
185cm／空手道歴15年

メレディース 怜士ジェームズ



NISHIKAWA Kokotaro
医療技術学部スポーツ医療学科
真光館高／大阪府
166cm／空手道歴15年

西川 心汰朗



GOTO Fuka
医療技術学部スポーツ医療学科
高松中央高／北海道
156cm／空手道歴15年

後藤 楓華



YAMADA Kazuya
医療技術学部スポーツ医療学科
栄北高／埼玉県
180cm／空手道歴16年

山田 和弥



FUNATO Raiki
医療技術学部スポーツ医療学科
浪速高／大阪府
190cm／空手道歴14年

船戸 来輝



ISHIHAMA Keiji
医療技術学部スポーツ医療学科
福井工業大学附属福井高／愛知県
172cm／空手道歴16年

石濱 慶嗣



FUNADA Ririka
医療技術学部スポーツ医療学科
四日市商業高／三重県
168cm／空手道歴15年

舟田 理々花



WATANABE Kensei
医療技術学部スポーツ医療学科
日本航空高／宮崎県
180cm／空手道歴15年

渡邊 拳聖



MATSUKAWA Reiga
医療技術学部スポーツ医療学科
九州学院高／熊本県
157cm／空手道歴16年

松川 怜雅



UEDA Soma
医療技術学部スポーツ医療学科
宇都宮短期大学附属高／栃木県
165cm／空手道歴15年

植田 颯真



ISHIHARA Mizuki
医療技術学部スポーツ医療学科
御殿場西高／岐阜県
156cm／空手道歴14年

石原 水晶



MATSUSHITA Masakazu
文学部社会科学
浜松開誠館高／三重県
167cm／空手道歴15年

松下 誠和



SHIMA Isuke
医療技術学部スポーツ医療学科
御殿場西高／大阪府
163cm／空手道歴16年

島 偉介



IROKAWA Kanon
医療技術学部スポーツ医療学科
東洋大学附属牛久高／茨城県
163cm／空手道歴15年

色川 華音



MIZUTA Ryo
教育学部初等教育学科
小松大谷高／石川県
168cm／空手道歴13年

水田 凌央



SHOJIMA Masato
医療技術学部スポーツ医療学科
宮崎第一高／佐賀県
177cm／空手道歴16年

生島 将人



階段



玄関ホール

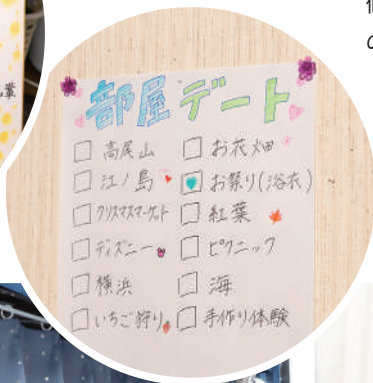


玄関

Housing 住

空手道と勉学に打ち込める環境で
心技一体をめざす

生活の拠点となる合宿所。朝食や掃除は班ごとに分担。
高い目標に向かって気持ちを揃え、団結力が育まれていきます。



▶ 仲間に囲まれて過ごせる
かけがえのない四年間に

個室は先輩・後輩と2〜3人で使用。一緒に泣いて笑って、家族
のような関係になれるのは合宿所生活ならではの。



Private Room

空手道部
合宿所
での

Clothing, Food and Housing 衣・食・住

帝京大学空手道部の強さの秘密に合宿所の存在があります。
学生たちはここでどのように過ごしているのでしょうか。
生活に欠かせない衣・食・住をテーマにして紹介します。



(左から) 二年 石原水晶、後藤楓華、色川華音

Clothing 衣

汗のにおいもなかったことに
稽古中も合宿所もいい香り

汗をかくのが当たり前の部活動。
だからこそ洗濯機が並ぶ洗濯室や、大型の乾
燥機が完備。空き時間を有効活用して洗濯し
ています。

▶ においも好みも十人十色だから
みんな持ってるマイ洗濯洗剤

洗濯機や乾燥機は譲り合って使用しますが、洗剤は
自分好み。匂いに敏感な学生たちは、香りにもこだ
わっています。



Food 食

カラダづくりに欠かせない
バランスのとれた食生活を

昼食と夕食は大学の食堂で、朝食は当番制で、
自分たちで作り全員ここで食べています。料理
の腕前も上がりますね。

▶ 食べて笑って楽しく過ごせる
私たちのリビングダイニング

朝食時以外では自習したり、みんなで話し合っ
たり、思い思いの過ごし方ができる、くつろぎの空間
があるのがうれしい。



部員に寄り添ったサポートを

空手道部の活躍を影で支える帝京八王子接骨院。
大会にも帯同する坂野先生にお話を伺った。

帝京八王子接骨院

坂野 悠也

SAKANO Yuya

さかの ゆうや
1999 年生まれ
東京都出身
柔道整復師
帝京八王子接骨院スタッフ (2021 年 4 月～)
帝京大学医療技術学部柔道整復学科助手

当接骨院は空手道部の学生への対応はもちろんですが、小さいお子様から高齢者といった一般外来の方への対応も行っています。対応力の幅広さは当院の強みであると思っていますし、スペース面においても十分なベッド数、リハビリに対応できるだけの広さを有しています。私個人としては今年で当院勤務5年目となります。これまで接骨院の一スタッフとして空手道部の学生とは院内での治療を通してというお付き合いでしたが、昨年度から大会にも帯同させてもらうようになり、今年からは私がメインの帯同者となりました。競技前のケアやテーピングの巻き方など、私が手を加えたことで結果がどちらにでも転ぶと考えるとやっぱりプレッシャーは感じます(笑)。大会への帯同を考えると、もって個々の学生について知らないといけないと思うので、日ごろからみんなとコミュニケーションを取っていきたいと思います。

空手道部の学生は体のケアに対する意識が非常に高いというのが私の印象です。けがをしたら誰でも接骨院に治療を受けにきます。でも大事なのはけがをいかに予防できるかということです。空手道部の学生は、けがをしていないときでも自分の体を気遣い、自分のパフォーマンス

医療技術学部柔道整復学科
附属臨床実習施設
帝京八王子接骨院

帝京大学の強化クラブが日々練習を行う八王子キャンパスに設置された接骨院。帝京大学総合武道館内にあるため、主に空手道や柔道などの武道系強化クラブ学生の施術に当たる。一般の患者に対しても施術を行っている。



強い気持ちを持ち、限界を決めずに自分らしさを貫いてほしい

世界の頂点を知り、今なお現役の第一線に立つ本一将コーチは、その経験を後輩たちへと惜しみなく伝えていく。帝京大学が誇る形職人は指導者としても着実に歩んでいる。

コーチ紹介

コーチ 本 一将

MOTO Kazumasa

もと かずまさ
1995 年生まれ
千葉県出身
拓殖大学紅陵高校～帝京大学
2017 年度副主将

自分の学生時代と比べても今の学生は競技への意識が高いと思いますし、みんな頑張っているの勝ってほしいとは思っています。強いしなやかとか変なプレッシャーは持たないようになっています。自分もだいたい大人になったというか(笑)、周りが見えるようになったので、以前はこまめに口を挟むこともありましたが、調子のよい選手には見守るスタンスで、一方で迷っている子には声をかけたりとバランスを見ながら指導できるようにしてきた感じがあります。

最近は「適当」という言葉がいけないと思うことがあります。雑とかマイナスのイメージではなくて、適度、適切というポジティブな意味合いですね。元々自分自身も練習をやり込みすぎる癖があったけがをしてきました。そうすると練習もできなくなってしまう。息抜きも大切ですし、何事も適当な部分を行き来するバランスが大切なのだと痛感しています。技も力を入れることは大事ですが、力を込めすぎると見ている側も息苦しく感じるものです。学生にも「適当」の大切さを伝えていきます。

指導者として香川師範からは盗みたいところですが、指導をしているその姿から、師範自身の空手道に圧倒的な自信を感じるところは自分にはない部分なのでお手本にしたいです。選手目線では

見ても師範の技は真似できないレベルですし、尊敬の念を抱いています。また、高校時代の恩師で、帝京大学のOBでもある神崎裕樹先輩の指導にも影響を受けています。神崎先輩は、練習中は厳しいのですが、個人の意見を尊重し、その人の気持ちに立って一緒に戦ってくれる方でした。試合でもこの人といれば勝てると思って、燃えてくるものがありました。自分もそんな指導者になれたらと思っています。

帝京大学空手道部をめざす人に伝えたいことは、強い気持ちを持つてほしい、自分の限界を決めないでほしいということです。自分自身が入学時は大した存在でなかったのですが、心の奥底に絶対4年間で先輩たちを超えたいという思いを持っていた。心の底から強くなりたい、この人を超えたいという思いがあれば、自分のような不器用な人間でも少しは強く、上に行けると思います。また、人間は自分で想像できることは実現できるようです。逆に無理だと思ったらストッパーがかかります。だから、今は想像できないことも、自分を高めるためにイメージをしてください。ダメだと思ったら絶対にできないので、絶対にやれると思えば自分の想像を超えられるのだと思います。限界を決めずに自分らしさを貫いて頑張ってください。





2025年度 年間行事予定

- 4月12日(土)～13日(日)
第12回東アジア空手道選手権大会 中国・河南省
- 5月5日(月)
第61回東日本大学空手道選手権大会 日本武道館
- 5月25日(日)
第53回関東学生空手道選手権大会 慶應義塾日吉記念館
- 7月6日(日)
第69回全日本学生空手道選手権大会 姫路市立中央体育館
- 9月5日(金)～7日(日)
第23回アジアカデット、ジュニア&U21選手権大会 中国・広東省
- 10月5日(日)～7日(火)
第79回 国民スポーツ大会 空手道競技会 ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)
- 10月13日(月)
第68回関東大学空手道選手権大会 日本武道館
- 10月26日(日)
第36回関東学生空手道体重別選手権大会 未定
- 11月16日(日)
第69回全日本大学空手道選手権大会 日本武道館
- 12月13日(土)
内閣総理大臣杯 第53回全日本空手道選手権大会 東京武道館
- 12月14日(日)
天皇杯 皇后杯 第53回全日本空手道選手権大会 日本武道館
- 2026年1月※予定
冲永杯 帝京大学八王子キャンパス

※2025年9月現在の情報です。今後、日程や開催場所が変更になる場合があります。

2024年度 大会成績

個人			
地曳 光生(医療技術学部四年)			
第68回全日本学生空手道選手権大会	個人形	優勝	
第52回関東学生空手道選手権大会	個人形	優勝	
片岡 大樹(医療技術学部四年)			
第52回関東学生空手道選手権大会	個人組手	優勝	
皆川 夢乃(法学部四年)			
第35回関東・東日本地区学生体重別空手道選手権大会	個人組手50kg以下級	優勝	
佐藤 琴美(医療技術学部二年)			
第13回世界カデット、ジュニア&U21空手道選手権大会	個人形	優勝	
第22回アジアカデット、ジュニア&U21空手道選手権大会	個人形	優勝	
第52回関東学生空手道選手権大会	個人組手	優勝(2連覇)	
伊藤 藍(医療技術学部二年)			
第35回関東・東日本地区学生体重別空手道選手権大会	個人組手55kg以下級	優勝	
石原 水晶(医療技術学部一年)			
第13回世界カデット、ジュニア&U21空手道選手権大会	個人組手50kg以下級	優勝	
第22回アジアカデット、ジュニア&U21空手道選手権大会	個人組手50kg以下級	優勝	
島 偉介(医療技術学部一年)			
第35回関東・東日本地区学生体重別空手道選手権大会	個人組手60kg以下級	優勝	
上田 美優(医療技術学部一年)			
第35回関東・東日本地区学生体重別空手道選手権大会	個人組手68kg以下級	優勝	
団体			
第68回全日本大学空手道選手権大会	男子団体形	優勝(5連覇・15回目)	
	女子団体形	優勝(14連覇・16回目)	
第67回関東大学空手道選手権大会	男子団体組手	優勝(17回目)	
	男子団体形	優勝(16連覇・22回目)	
	女子団体形	優勝(19連覇・19回目)	



Sports Evolution

—スポーツは、ここから進化する。—

進化の主役はスポーツを「する」人のみならず、「みる」人、「ささえる」人といった、本学のスポーツを愛するすべての人々です。

強化クラブ室

スポーツ局の中にある強化クラブ室は、統一的な強化方針の下、7競技、8クラブを指定強化クラブとして選定しサポートを行っています。各種支援を通して、学業とクラブ活動に集中できる環境を整備し、学生生活の充実に向けて取り組んでいます。主なサポートとして、以下のものがあります。

1. 競技生活のサポート

(1)医療サポート
スポーツ医科学クリニック（八王子キャンパス）において、けがや病気に対する迅速な治療対応の実施（帝京大学医学部附属病院との医療連携体制）。
(2)専門スタッフによる多角的なサポート
スポーツ医科学センターのスタッフによるトレーニング指導や傷害予防および受傷後の復帰に向けたリハビリテーション、栄養指導等。

2. 学生生活のサポート

学生支援課学生支援室における各種相談や、教務課が行う学修支援、学生支援課キャリアサポートセンターによる就職・キャリア支援。

大学スポーツの進化をめざす 帝京大学スポーツ局

帝京大学スポーツ局局长

岩出 雅之

帝京大学は、輝かしい実績を誇る強化クラブをはじめとし、一般クラブ、スポーツ医科学センター、スポーツ医学科などスポーツに関する学術研究・教育、および医科学的サポート体制や施設設備など、豊富な人的、物的、知的スポーツ資源を有しています。

一方、近年、社会の変化の中で、大学スポーツにおいても、ガバナンス構築、学業との両立や将来を見据えたデュアルキャリア支援、安全・安心なスポーツ環境づくり、スポーツインテグリティ（高潔性）、さらには大学スポーツを通じた社会貢献の必要性が高まっています。

このような背景の下、2022年4月、帝京大学スポーツ局が設置されました。これまで、本学運動部の課題や要望を踏まえた改善や活動評価の実施などに取り組んでいるところです。スポーツ局は、次のミッションを掲げています。



スポーツ振興

スポーツへの参画を促進し、する・みる・ささえる人たちの活動支援を通して、楽しさやお互いの結びつきを高め、心身の充実を図るとともに、社会の発展に寄与する人材の育成に努める。

1. 学内スポーツの充実

(1)スポーツに触れる機会を創出する
気軽に参加できるスポーツイベントや体験スペース等を通して、多くの学生にスポーツへ導く機会をつくる。

(2)各クラブ活動の充実

①安全・安心な環境とガバナンスを構築し、健全で充実したスポーツ活動を推進する。
②人材育成と指導者の教育的・専門的技術向上を図る研修を行う。

2. 学術研究

スポーツ医科学やスポーツに関する研究を推進し、成果を学内外に提供するとともに、スポーツ教育の充実を図る。

3. 学外連携・社会貢献

自治体等との連携に努め、地域のスポーツ振興に寄与するとともに、スポーツを通じた地域貢献に努める。

帝京スポーツサポーターの会

2022年度より発足した帝京スポーツサポーターの会は、本学のスポーツを「みる」「ささえる」ことに関心を有し趣旨に賛同する本学の教職員、学生、卒業生等が会員となり、スポーツ局と連携し本学スポーツに係る諸活動を支援し、スポーツ振興を図ることを目的にしています。

同会には活動内容に応じ、①パブリシティ、②イベント、③メディカル・ハイパフォーマンス、④マーケティングの4つのチームが置かれており、それぞれ会員募集活動や情報発信、強化運動部の応援イベントや学生トレーナー勉強会等の事業に取り組んでいます。この会が、スポーツを通して、多くの帝京大生が「つながる」一助となり、本学スポーツの振興につながるよう活動を進めています。一緒に帝京大学のスポーツを盛り上げてくれる学生や教職員、ファンの方を募集します。



フロアマップ	
3F	剣道場／会議室
2F	柔道場
1F	空手道場／接骨院
B1F	トレーニングルーム

帝京大学総合武道館には、空手道場、柔道場、剣道場があり、部員が日々稽古に励んでいる。さらに、館内にはトレーニングルームと接骨院も完備。トレーニングやリハビリテーション、突然のけがなどへの迅速な対応が可能な施設になっている。

Guide for Budo-Kan

帝京大学 総合武道館 ガイド



個人ロッカー



トレーニングルーム



道場

空手道部が日々稽古に励む道場では、公式戦仕様のマットを敷いて練習している。香川師範の「厳しい競技だからこそ明るい雰囲気」という思いから日中は外光が、夜は照明によって明るい空間になっている。道場には個人ロッカーやシャワールーム、地下1階にはトレーニングルームを備える。

Sports Science & Medicine

帝京大学スポーツ医科学センター

スポーツ医科学をさらに究め、 学生たちを安全に、健康に、強くする

帝京大学スポーツ医科学センターは、「メディカル」「サイエンス」「アスレティックトレーナー」「ストレングス&コンディショニング」「栄養」「コーチ」の各分野の専門スタッフがチームを結成し、分野を超えた連携をしながら各クラブをサポートしています。“うちかつ強さを”をスローガンに掲げ、学生アスリートの希望を叶えられるように多角的なサポートをしています。



各クラブを6方面から支えるトータルサポートシステム

コーチ

専門的な知識を活用し、アスリートサポートを実現する

管理栄養士

体づくりの目標に応じてけがや病気をしない栄養管理を行う



Inbody



帝京大学スポーツ
医科学センター
ホームページ



ストレングス&コンディショニング アスレティックトレーナー

競技復帰やパフォーマンス向上に向けた取り組みを
競技現場でアスリートとともに実践していく

メディカル

サイエンス

メディカル

スポーツ損傷やアスリートに関する
疾患の治療・研究を進める



高気圧酸素治療



帝京大学医学部附属病院
(東京都板橋区)

サイエンス

バイオメカニクスや運動生理学に沿って
測定・研究を行う



環境制御室

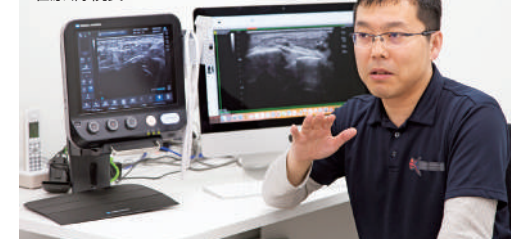


MPI Tokyo

国内屈指のスポーツ医療でアスリートを守る

帝京大学スポーツ医科学センターは、国内有数の充実した医療設備を備え、スポーツ損傷の予防と治療に取り組んでいます。スポーツ医療を推進する「メディカルチーム」の強みのひとつは、エコー（超音波）による診療です。スポーツ医科学センターの1階にあるスポーツ医科学クリニックでは、選手は診察室に入ってから、わずか数分で適切な診断を受けられます。たとえば、柔道で肘がけがした場合、エコーを用いればどのじん帯がどの程度損傷しているのかまでその場で診断できます。そのため、その選手に適切な治療やリハビリを、トレーナーと連携して速やかに提供できるのです。また、けがを早期発見して悪化を防ぐことや、けが予防のためにトレーニングを見直すことも可能です。さらには、学内外の医療機関と連携しているため、状況に応じて肘や膝など各分野の権威とされる医師を紹介することもできます。ありとあらゆる手段で選手を守ることが私たちの役目です。

帝京大学
スポーツ医科学クリニック
笹原 潤 院長



帝京大学八王子キャンパス 学生支援課
キャリアサポートセンター

帝京大学では、学生のキャリア支援体制にも力を入れています。自らの資質に目を向け、実践的な就業体験をすることで、将来へのビジョンを明確にできるよう、さまざまな形で支援を行っています。



就活支援イベント>主な支援行事(一例) ※■は対象年次のみ、□は全学年参加可能

一年次	就職ガイダンス前期編・後期編	□外国人留学生就職ガイダンス(全三回)
■アセスメントテスト	□公務員入門ガイダンス	四年次
■1・2年生のための	□外国人留学生就職ガイダンス(全三回)	■学内合同企業説明会
夏期・春期インターンシップ講座	三年次	■個別企業セミナー兼一次選考会
■障がい学生・配慮が必要な学生のための	■就職ガイダンス	■公務員二次面接対策
就職ガイダンス前期編・後期編	□インターンシップ講座	
□外国人留学生就職ガイダンス(全三回)	■障がい学生・配慮が必要な学生のための	
二年次	就職ガイダンス前期編・後期編	
■1・2年生のための	□企業・公務員OBOG座談会	
夏期・春期インターンシップ講座	□公務員・独立行政法人等しごとセミナー	
■障がい学生・配慮が必要な学生のための	□学内合同企業説明会	



八王子キャンパスの
キャリア支援
詳しくはこちら▶

体育会学生向け就職支援

多様な進路選択ができるよう、各クラブの指導者と連携し、忙しい体育局学生に合わせたイベント等の案内や個別面談を実施しています。これにより、体育局学生を積極的に採用したい企業の紹介や公務員対策を早期に行うことで、部活動と就職活動の両立が可能となります。

学内合同企業説明会

八王子キャンパスでは、キャリア教育支援の一環として3～4年次の学生を対象に、優良企業を集めた合同企業説明会を開催します。多くの企業・団体が参加するため、学生は自分に合う企業を見つけることができます。

公務員課外講座

公務員採用試験に向けて、しっかり試験対策をしていくために、プロの講師から勉強のサポートや試験突破のコツなどを効率よく学修できるよう支援を展開しています。毎年、公安系（警察・消防など）のほか行政職（県庁・特別区など）にも多く就職しています。

個別サポート

さまざまな業界出身のキャリアアドバイザーが常駐し、学生の進路相談にのっています。書類添削、模擬面接、個別相談など指名制で受けることができ、学生一人ひとりに寄り添い支援をしています。

「自分流」の究極の「形」を全身全霊で実践・体現

空手道部顧問として2年目を迎えました。素晴らしい伝統を持つ空手道部とのご縁を改めて光栄に思っております。

空手道部は2024年度、全日本大学空手道選手権大会団体形で男子が5連覇、女子が14連覇を果たしたほか、スペインで行われた空手ワールドカップ世界国別選手権の記念すべき第一回大会でも男女の団体形で本学学生や卒業生が見事優勝しました。個人の各大会での優勝も組手、形ともに枚挙に暇がないほどです。

こうした卓越した成果は、学生の皆さんが空手道を通して、まさに本学の教育理念「自分流」の究極の「形」を全身全霊で実践、体現している証左だと思います。

帝京大学空手道部が本年度、さらに輝かしい光を放ち、栄光の歴史に新たな一章を開いていくことを、心より祈念いたします。



帝京大学空手道部 顧問
経済学部経営学科 教授

岡本 道郎
OKAMOTO Michiro

道着一枚で
世界を渡り歩きたい

大学卒業後も空手とともに人生を歩むことを決意した中川聖也は、自分を信じ、ブレることなく目標へと日々前進し続けている。

卒業生インタビュー

日本空手松涛連盟
中川 聖也

なかがわ せいや
2002年生まれ/石川県出身
小松大谷高校→帝京大学

両親とも空手をやっていて、もあり、物心ついたときには空手を始めていました。そして、小学校六年生のころですが、当時地元の高校の空手道部の顧問をしていた父が部員をつれて帝京大学で練習に行く機会があり、自分もそこに同行させてもらいました。そこで部員の皆さんの輝く姿を見て、自分もこうなりたいと思ったことが、帝京大学を志すきっかけとなりました。

実際に入学してからの4年間は、試合にも出られず、全然結果も出せずに苦勞した4年間だったと言えるのかもしれませんが。転機となったのは二年生の関東個人戦への出場権をかけた部内選考会で敗れたことです。その数日後に香川師範の元へ行き、卒業後に松涛連盟の指導員になりたいという気持ちで伝えました。師範のリアクションは「ああ、そうか」とそっけない感じでしたね（苦笑）。とにかく大学卒業後も空手を辞めるという選択はありませんでした。今まで空手を続けてきて、それを一度の就職で台無しにすることは自分にはできなかったの、それならばこれまで空手を通して学んできたことを、子どもたちやいるいる人たちに伝えて生きていることが自分の道なのだと思います。

大学生活での4年間ではブレずに自分を信じることの大切さを学

びました。部内には同期、先輩にすごい選手がたくさんいたので、その人に憧れてあなりたいと思って、真似しようとしても自分が自分に合うものとは限らないので、自分が今できること、自分の持っているもので、どうやって相手と戦うかということ、自分を信じてやり続けることが大事なのだと思います。

現在は日本空手松涛連盟の研修生として、将来の指導員をめざして下積み中です。その一方で、現役としても競技を続けているのでナショナルチームに入って世界チャンピオンになるという目標も持っています。

自分は不器用で、言われたことをスッとできるタイプではな

いですが、本当に苦勞してきたので、今自分が教えている子たちにも結構多いのですが、そういう子たちにもちゃんと自分の言葉と体を使って、寄り添って教えてあげられたらと思います。また自分はずっとメンバー外だったので、メンバー外の人間の気持ちは本当によく分かるので、そうした人にも寄り添える指導者になりたいです。そして、道着一枚で世界を渡り歩くことが指導員としての最終的な目標です。

帝京大学空手道部は歴史あるクラブですが、決して学生一人ひとりを見捨てることはないの、安心して自分の目標に向かって、そしてその目標からブレることなく4年間頑張ってください！



空手道部 卒業生の主な進路

公的機関

警視庁、岡山県警察本部、埼玉県警察本部、長野県警察本部、宮城県警察本部、柏市役所、学校法人北陸大谷学園 小松大谷高等学校、学校法人村上学園 東大阪大学敬愛高等学校

一般企業（実業団含む）

アットキヤド、ALSOK群馬、イーギャランティ、エイジライフ、エージービー、カープスジャパン、高栄警備保障、光輝建築、三起商行（ミキハウス）、ジェーピーディーエイチ、シモハナ物流、セコム、総合警備保障、太陽建機レンタル、日本管材センター、ノジマ、マツモト産業、ミサワ、むさし証券、ワールドウイング

帝京大学空手道部 イヤーブック発刊に寄せて

学校法人帝京大学 理事長
帝京大学 学長
冲永 佳史

本学における指定強化部の活躍が近年頼もしくも目立っておりますが、このような流れを形作るにあたっては近道はなく、日々の積み重ねの結果として表立ってくるものであります。強化に向けたあらゆる努力を地道に続けてきたからこそ、めざましい実績につながっているのです。

しかしながら、目立つことが目的になってはいけないと考えております。大学におけるスポーツはプロスポーツと異なり、あくまでも教育機関が行っている活動であり、必要な知識や技術を客観的に見つめ吸収し、現在そして将来において、競技力向上の下地をつくるということもさることながら、人としての構えを身に付け、多様な人とかわりながら仕事を進めて行ける知恵や社会性を醸成することに重点を置いています。

各練習施設やトレーニング施設の拡充はもちろん、競技力向上のために必要なトレーニング方法や食の管理、けがの際の適切な治療などを施す、大学付設のスポーツ医科学センターや接骨院のバックアップ体制などのほか、普段の授業すべてが学生の育成を目的として存在しています。

よって、指定強化部で活動している学生諸君につきましては、これら本学における支援体制を存分に活用し、教職員をはじめとしたさまざまな人々とかわり、経験を積んで社会の中で活躍できる人材へと成長していただけることを心から期待しております。

SORA RATIO 宙×理性＝可能性

SORATIOとは…

果てしない天空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「宙＝SORA」とラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語。

帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また高層部・低層部からなる建物群をSQUARE（広場）として捉え、「SORATIO SQUARE（ソラディオ スクエア）」と名づけました。

キミの広がる無限の可能性

充実した学びの環境 SORATIO SQUARE

帝京大学八王子キャンパスは、授業や学校生活の拠点となる、地上22階、地下2階の校舎SORATIO SQUAREを中心としたキャンパスです。

多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体化したデザインは帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表しています。

帝京大学空手道部 イヤーブック 2025

2025年9月発行
編集：河村 圭佑 (threelight)
撮影：川本 聖哉
取材・文：高橋 康光
デザイン：比嘉 桃乃 (threelight)
発行：帝京大学本部 広報課
東京都板橋区加賀2-11-1

 **帝京大学**
<https://www.teikyo-u.ac.jp/>

本誌掲載記事、写真等の無断複製・転載を禁じます。
© TEIKYO UNIVERSITY 2025

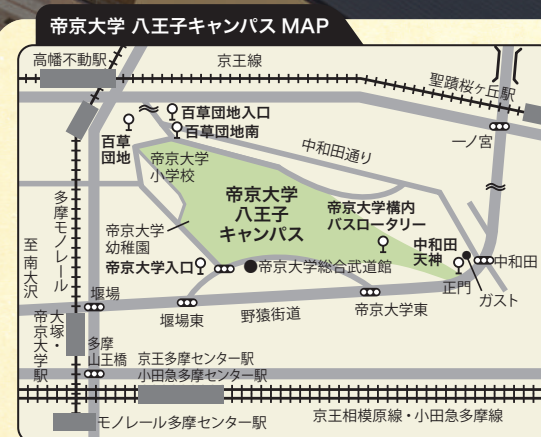


帝京大学 空手道部 公式ホームページ

最新の試合結果やニュースをはじめ、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<https://www.teikyo-sports.jp/karate/>

帝京大学 空手道部



全国に広がる 5つのキャンパス

八王子キャンパス

板橋キャンパス

宇都宮キャンパス

福岡キャンパス

霞ヶ関キャンパス

「八王子キャンパス」で学べる学部学科

経済学部

経済学科
国際経済学科
経営学科
観光経営学科

法学部

法律学科
政治学科

文学部

日本文化学科
史学科
社会学科
心理学科

外国語学部

外国語学科
国際日本学科

教育学部

教育文化学科
初等教育学科

医療技術学部

スポーツ医療学科
※健康スポーツコース／
トップアスリートコースのみ